

長嶺コミ協だより

平成27年3月10日 「第23回ミニサミット」特集号
発行 長嶺地域コミュニティ協議会 会長 水本 直弥



第23回「長嶺地域コミュニティ協議会ミニサミット」開る

平成27年2月15日蒲原神社青海殿に於いて、第23回長嶺地域コミュニティ協議会ミニサミットが中央区高橋建造区長はじめ百十名余の参加で開かれました。ミニサミットは来賓の高橋建造中央区長の祝辞、続いてその後八つの専門部、実行委員会の活動報告が行われました。そのあと白井裕司中央区東出張所長の乾杯の音頭により懇親会に移り、百余名の各町内会・自治会会長、コミ協、町内会・自治会の役員が歓談により懇親を深め、4時から始まったミニサミットも7時をもって散会しました。

水本直弥長嶺地域コミュニティ協議会会長のあいさつ

今日は寒い中、お休みのところミニサミットにご出席いただきまして、誠にありがとうございます。きょうのサミットは23回目になります。

このサミットには中央区長高橋様始め多くの来賓の方からご出席いただき誠にありがとうございます。

今地域包括ケアという問題がでてきます。これは現在少子高齢化社会がますます進んできており、それらのもんだいについて国が地域や地方自治体に委託するという形にするということであり、27年度から実施するということでしたが、いろんな自治体からそんなに急に出来ないだろうということで、29年まで実施が延長されることになりました。

その間我々地域といたしましてコミ協と自治町内会と一緒に取組んでゆかねばならないと思っております。



コミ協事務所について、高橋区長、白井事務所長のお力添えによりまして4月から東出張所に移ることとなりました。新しい庁舎の2階の広くて明るい場所です。車椅子でこられてもエレベーターを使ってあがってこられる、前は急な階段で非常に危険でした。今度は安全にこられる場所となります。

26年度のモデル事業ということで申請していたものが許可になりました。健康づくりや視覚的な施設を設けることが出来、体操とかがいふようなことが出来、それから居場所づくりというところ、毎週いふようなことが出来る場所を設置するということを考えております。

地域の居場所づくり、健康づくりをやって元気で長生きしてゆく、そういう地域を作ってゆきたいと思っております。

今まで町内会長さんといろいろな勉強会を3回ほど開いてきましたが、これから町内会長さんだけではなく、役員のみなさんと一緒に勉強会を開いて地域のみなさんからいふような意見を聞きながら地域づくりをやってゆきたいと考えております。

又子どもたちの安心安全についても、コミ協として子どもたちと一緒に企画し、いろいろな行事を行なってきましたが、長嶺地域にきたら住んで安心だということ、いろいろな人が住みついてくれるような地域にしたいと思っております。

我々としては行政でできることは地域でできることは地域でと、多額の借金を持つ国に頼らない地域づくりをやってゆきたいと思えます。

新潟市中央区 高橋建造区長のあいさつ

皆様こんにちは、ご紹介いただきました中央区長の高橋でございます。

まずは皆様には先ほど水本会長のご挨拶にありましたように安心安全な街づくりにご尽力頂いていることに感謝を申し上げます。

又市政区政についても様々な協力をたまわりまして、あわせて感謝を申し上げます。

この機会でありまして、市政区政をめぐる動きを若干話させていただきます。

人口のはなしですが、一年前の五月に前の岩手県知事増田さんが日本創成会議という会議の中で、市町村の半分くらいが消滅するという発表をしました。これは何故かといいますが人口が減ること、人口が減ると何が困るかといえますと、一定規模の人口がないと行政がうまくゆかなくなるということです。現在お子様が少ない、出産適齢期の20代、30代の女性の人口とその出生率のかけあわせで、女性一人が二・一人出生すると人口は維持できる。二十代、三十代の女性の人口は少ない、しかも出生率が少ない。自治体で人口が一人をきつた所では行政機能は維持できなくなるということです。

もう一つの人口の話ですけれども今、年間地方から東京へ十万人が移りすんでいる。学校へゆくとか、就職に行く人が十万人いるということです。



このように出生率と人口の社会的移動ということで、地方の人口がどんどん減ってゆく。昨年国もさすがに心配になりました。日本創生、地方が元気になるないと日本はだめになると、動きだしております。新潟市も呼応するかたちで創生本部を立ち上げています。ただ出生率については人生にかかわることなので、役所が直接くちをだすようなことではなく、お生みになりたい子どもの数、子育てする子どもの数、これがご希望するお子様と共に人生を迎えられるようなやさしい町、社会移動の点で言えば十八歳の選択、二十二歳の選択、

その二つの選択のとき、学校、就職というものを選べる街、選んでいただける町にしたいということです。

ようやく3月末で平成の大合併に伴って行なってきた計画の期間が終わります。大合併で周囲の市町村と合併し、それらの市町村が横並びになりました。

四月からあらためて町づくりの再スタートがえられるそんな年になりました。長嶺コミ協からも参加していただいている自治協議会などで町づくり進めてゆきたいと思えます。

今年には新潟市か東アジア文化都市というものを選ばれております。これは日中韓の中で文化交流をしてゆこう、そのような都市をそれぞれの国から一つずつ選んで交流し、そして又東アジアの文化のよさを世界中に発信してゆこうという取組みです。

今年には新潟市が選ばれ、昨年は横浜市、来年は奈良市、再来年は京都市です。このようなそうそうたる都市と並んで新潟市が日本の代表都市として選ばれました。このあと様々な催しをしながら、東アジアの文化を世界に発信してゆくことになりま。

万代小学校跡地利用が決定しました。公募型のプロポーザ案で最優秀作品で集合住宅を中心にした商店や医療あるいは介護というような提案です。先ほど人口が減っている、減っていると申し上げてきましたが、この跡地は大変に評価された、非常に付加価値の高い地なんだということで、積極的な提案がなされたという風に感じております。大変ななごとなりましたが、今日は皆様方と話し合える重要な機会となりまして、ありがとうございます。

長嶺コミ協がますます発展しますようお願いしまして、簡単ですが挨拶とさせていただきます。

専門部活動報告

環境整備部 野口幸二部長

・5月11日 ほんぼーと前コミ協管理地のつつじの手入れ
 ・6月15日 春季ほんぼーと周辺清掃90名
 ・6月30日 日く7月2日 蒲原まつり協力
 ・8月24日 コミ協夏まつり協力
 9月28日 秋季ほんぼーと周辺清掃



体育文化部 長井建策部長

・4月30日 部会開催
 ・8月24日 コミ協夏まつり模擬店出店等
 ・9月23日 健康ウォーク 沼垂小路めぐりパート2
 参加者55名(大人49名、子ども6名)



健康福祉部 松原明子部長

・4月7日 健康福祉部・ふれあい給食会役員会
 ・4月17日 給食サービス
 ・4月18日 26年度ふれあい給食会総会・昼食会
 ・5月15日 給食サービス
 ・5月22日 健康福祉部旅行
 ・6月19日 見守り(茶・手紙)
 ・6月30日 7月2日 蒲原まつり協力
 ・7月17日 見守り(茶・手紙)
 ・8月21日 見守り(茶・手紙)
 ・8月24日 コミ協夏まつり
 ・9月7日 自主防災訓練時炊き出し訓練(健康福祉部 日赤長嶺分団)
 ・9月18日 見守り(茶・手紙)
 ・10月4日 赤十字・赤い羽根共同募金
 ・10月16日 見守り(茶・手紙)
 ・10月30日 ふれあい3世代交流会
 ・11月20日 見守り(茶・手紙)
 ・12月7日 障害者ステーション「さんろーど祭」
 ・12月18日 見守り(茶・手紙)
 ・1月15日 見守り(茶・手紙)
 ・2月19日 健康福祉部 新年交流会、見守り(茶・手紙)
 ・2月28日 おはよう朝ごはん料理講習会
 ・見守り(茶・手紙)
 ・3月28日(予定) 健康講座



安心安全部 加藤孝雄部長

・5月16日 安心安全部総会
 ・6月30日 7月2日 蒲原祭り、福祉ふれあい広場テント設置及び臨時駐車場巡回等 延べ32名
 ・8月24日 コミ協夏祭り協力 かき氷(電動)、飲み物、会場警備2ヶ所 協力者 37名
 ・9月7日 自主防災訓練 従来の訓練と津波避難訓練を行った。このとき初めて300名を割り込み今後の課題です。
 地域参加人数285名、中央区役所2名 万代長嶺小学校長1名 中央消防署員4名 消防団中央方面隊員9名
 ・12月10日 年末防犯防火パトロール 参加者60名 中央区安心安全係1名 沼垂交番2名 駅前交番2名 消防団員が参加しました
 ・2月26日 防犯座談会 コミ協事務所 講師未定
 ・3月8日 割烹たなか 反省会(予定)



広報部 平石三男部長

26年度「コミ協だより」発行
 1、ほんぼーと花見の会(4月20日) 2、春季ほんぼーと一斉清掃(6月15日)
 3、蒲原まつり(6月30日 7月2日) 4、サマーキャンプ(7月27日) 5、沼垂まつり(8月16日) 6、長嶺コミ協夏まつり(8月24日) 7、自主防災訓練(9月8日)
 8、元氣ウォーク(9月23日) 9、ふれあい3世代交流会(10月30日) 10、たんぼぼ「クリスマス会」(12月9日) 11、年末防犯パトロール(12月10日) 12、新春のつどい(1月24日)

産業経済部 百川伸宏部長

・蒲原まつりにて清掃活動のお手伝いを行いました。ならびに、さんろーどさんの出店ブースにて発酵食品関連の商品販売を行なって頂きました。
 ・コミ協夏まつりにて、例年通り発酵食品の販売ブースとして出展させて頂きました。出展企業は以上の通り 峰村商店、堀川醸造、坂豊商店、菱山六醬油、百川味噌

青少年部 小田島満雄部長

・6月6日 部会・懇親会(長嶺コミ協事務所にて開催19名参加)
 ・6月30日 7月2日 蒲原まつり協力(ゴミパトロール協力)
 ・7月28日 サマー

キャンプ 田上町総合公園(YOU・遊・ランド) 参加者大人59名、児童41名、合計112名
 ・8月16日 沼垂まつり コミ協の灯笼と西片原の山車で参加
 ・8月25日 コミ協夏まつり 焼きそばとイベントコーナーを担当
 ・予定3月8日 6年生の卒業と新1年生の入学を祝う会



実行委員会事業

蒲原まつり実行委員会 水本孝夫実行委員長

今年度の蒲原まつりについて、以下の通り報告させていただきます。

- ◎6月30日(月)晴れ・7月1日(火)晴れ・7月2日(水)晴れ
- 1、見物客数 約202,200人
- 2、露店出店数 431店 (前年より15店減)
- 3、福祉ふれあい広場出店数 18店舗 (前年より2店舗増)
- 4、「ゆかたまつり」抽選会参加者数 約500名
- 5、まつり広報誌発行部数 12500部
- 6、臨時駐車場申込台数 約220台
- 7、まつり協力者延べ人数 約1600名

以上の結果となりました。この度も皆様の温かいご協力のもと、事故もなく無事終えることが出来ましたこと、誠にありがとうございました。



来賓の皆さま ありがとうございます。

中央区長	高橋 建造 様	中央区健康福祉課長	今井 利司 様
宮浦中学校長	坂井 正樹 様	東地区公民館長	星野 明 様
万代長嶺小学校	斎川 豊 様	中央区社会福祉協議会大野	裕明 様
中央区東出張所長	白井 裕司 様	中央区社会福祉協議会事務局長補佐	
宮浦中学教頭	本間 正洋 様	高橋 桂子 様	
万代長嶺小学校教頭	松野 孝雄 様	中央区社会福祉協議会地域福祉推進員	
中央区地域課長	長浜 達也 様	古川 文代 様	
中央区東出張所副所長	金子 幹雄 様	万代長嶺地区民生児童委員協議会長	
新潟市立図書館長	山川 正士 様	元長嶺小学校長	本多 功 様
新潟東警察署生活安全課長	相澤 豊 様	元長嶺使用学校長	田中 民司 様
新潟東警察署新潟駅前交番	横井 伸一 様	宮浦中学校PTA会長大宮	幸田 越夫 様
新潟東警察署沼垂交番大野	一 郎 様	万代長嶺小学校PTA会長	一真 様
		旧長嶺小学校同窓会会長金子隆弘	徳広 様

長嶺地域コミュニティ協議会 事務所の移転について

昨年7月より耐震工事のため東地区総合庁舎が休館していましたが、3月中旬に完成となり当コミ協事務所も庁舎2階に移転することになりました。

3月22日(日)に引越しをしまして、4月1日(水)から業務再開となります。

長嶺地域コミュニティ協議会ホームページアドレスの変更について

平成24年5月から当コミ協のホームページを立ち上げましたが、今まで使用していたNTTコミュニケーションズは2015年2月28日をもってOCNのオプションサービス「Page ON」が終了となる旨の通知を受けまして、新たに「さくらインターネットサービス」に移行しました。

つきましては新しくホームページアドレスが変更となりましたのでお知らせ致します。

新しいホームページアドレスは

<http://minekomi.sakura.ne.jp> です。

宜しくお願ひ致します。